

川淵 智子の  
**お手軽野・菜・料・理**

ピリッとした辛みで風味をアップ

# ネギ

## 現在認められているネギの効用

- ・新陳代謝の促進
- ・のどの痛みや咳を鎮める作用
- ・血液サラサラ効果

## ネギの栄養

- ・葉先の緑の部分は、カロテンやビタミンCが豊富です。
- ・硫化アリル(アリシン)やセレンも含みます。

## 今月のポイント

ネギは薬味として用いられますが、それは古代からの名残でしょうか。ローマ皇帝ネロは、ネギを美声の葉としていたそうです。

ネギにはブランドものが多く、土壤に合ったよいネギがたくさんあります。それぞれに特徴があり、味わいも違います。今は季節がよく、価格が安定している、品数も多くなりますが、食べ比べてみるといい時期です。



「ホワイトスター」

## ワンポイントアドバイス

- ★含まれているのが水溶性ビタミンなので、生での調理(薬味たっぷりメニュー)か、煮汁ごと食べられるメニューになると、栄養の吸収効率がよくなります。
- ★カロテンを多く含んでおり、油で炒めたり焼いたりすると、吸収効率が4倍になります。



## 白ネギと白身魚のワイン蒸しクリームソース

一見、存在感が薄いネギ。でも、実はネギの力が影武者のように、形を変えてソースに深みを与えるのです。なお、動物性脂肪が気になる方は、バターをオリーブオイルに、生クリームを豆乳に変えてください。その場合、ソースのとろみは水溶き片栗粉かコーンスターチでつけてください。

### ●材料(4人分)

白ネギ	2本	ホウレンソウ	1束	バター(ソテー用)	100cc
ニンジン	1/6本	ワイン	100cc	こしょう(ソテー用)	0.5g
香味野菜(セルリーなど)	少々	水	80cc	生クリーム	100cc
バター	20g	塩	少々	塩(ソース用)	1g
白身魚(カレイ)	4枚	白こしょう	少々	こしょう(ソース用)	0.5g

### ●作り方

1. 白ネギは5~6cmの筒切りにし、さらに中央部分に届くよう切り込みを入れ、芯を取ります。3枚の表側の部分は繊維に沿って千切りにし、トッピング用に使います。
2. ニンジンは千切りにします。また、冷蔵庫にある香味野菜などの断片も千切りにします(ない場合は乾燥ハーブでも可)。
3. 浅手のふたつき鍋を用意します。鍋底にバターをぬり、1のネギの芯、2のニンジン1/2量と香味野菜を薄く敷きます。
4. 3に白身魚を並べて塩こしょうし、ワイン、水をそそぎ、ふたをして火をつけます。中火から弱火でゆっくり火を通します。
5. 別のフライパンでトッピング用の白ネギの千切りと、残りのニンジンをバターソテーしておきます。また、ホウレンソウもバターソテーし、軽くこしょうをして皿に盛りつけます。
6. 4の魚を5のホウレンソウの上に盛りつけます。4の煮汁は別鍋にこして再び煮立たせ、生クリームと塩こしょうで味を調えて、魚の上からたっぷりかけます。最後に、トッピング用の白ネギとニンジンのバターソテーを飾ります。



タキイ種苗株式会社

〒600-8686 京都市下京区梅小路  
振替口座 京都01080-0-5000番  
TEL (075) 365-0123(大代表)